

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		川西市特別職報酬等審議会(第5回)		
事務局(担当課)		総務部総務室職員課		
開催日時		平成26年10月27日(月) 午後7時00分から午後7時47分		
開催場所		川西市役所4階 庁議室		
出席者	委員	岩見 和彦 中西 倭夫 竹本 博之 松尾 幸恵	大智 靖志 大西 庄衛 中川 泰彰	廣瀬 一平 菅原 巖 本田 義継
	その他			
	事務局	総務部長 職員課長補佐	総務室長 職員課主査	職員課長 職員課主事
傍聴の可否		可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1 開会 2 議事 (1) 答申案の審議 (2) 答申案の確定 (3) その他 3 閉会		
会議結果		別紙審議経過のとおり		

会長	<p>本日は大変お忙しいところ、当審議会にご出席いただきましてありがとうございます。ただ今より、川西市特別職報酬等審議会を開催いたします。</p> <p>最初に、事務局より本日の委員の皆様方の出席状況について説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本日は、ご参集を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日の出席状況は、現状では10名中9名が出席されています。竹本委員が20分程度遅れてお越しになるというご連絡をいただいております。最終的には10名全員のご出席の予定でございます。</p> <p>つきましては、会議開催要件であります過半数の出席をいただいておりますので、本日の審議会は成立しておりますことをご報告申し上げます。</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただ今、当審議会は成立していることをご報告いただきました。</p> <p>本日は、最終の審議会ということになります。平成26年5月12日付けの大塩市長からの諮問に対しまして、答申をしたいと思っております。なるべく早く済ますことができればよいと、考えているところでございます。</p> <p>なお、当審議会は「会議公開運用要綱」により、公開とさせていただいておりますので、よろしくお願いいたします。今日はおられないですね。</p> <p>それでは、早速議事に入りたいと思います。今回は、私と事務局とで、答申素案を作成し、あらかじめ委員の皆様に見ていただき、様々な意見をいただきました。皆様の意見を出来るだけ答申に反映すべく、答申素案の修正を行った所でございます。さらに、当日審議する中において出てきた追加や修正事項については、私と事務局に一任いただくということであります。</p> <p>皆様のお手元にお配りしています赤字の修正が入っているものが、最終の答申案になります。修正したものが皆様にご承認いただけるかどうかをまず、ご審議いただければと思います。</p> <p>これから皆様に主だった追加・修正個所の説明をさせていただきまして、その修正の内容でご承認いただけるようでしたら、そのまま大塩市長に答申をさせていただきたいと思っておりますので、どうぞご協力の程よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、まず1ページ目のところです。1.9%という数字を基に、答申を組み立てておりましたが、事務局の方から100円の位は切り捨てて、千円の単位で丸くするというご説明で、前回ご了承いただいたと思っておりますが、その後いろいろ調べると、必ずしもそうってはいなかったということで、極めて事務的なことではありますが、大事なことでありますので、その点につきまして、まず事務局からご説明いただきます。</p>
事務局	<p>前回切り捨てということでご説明させていただいたわけですが、阪神間各市の状況をまず調べさせていただきまして、切り捨てているところもあれば、四捨五入している所もございました。本市のこれまでの状況についてでございますが、四捨五入の取扱いをしている状況が確認できましたので、訂正させていただきまして、四捨五入で端数処理をさせていただきたいと思っております。千円以下の単位で四捨五入し端数処理さ</p>

会長	<p>せていただきたいと思います。その結果、議員が1.8%の減額になりまして、副議長が、2.0%の減額となります。こういった形で、少し幅が生まれまして、1.8%から2.0%の間での改定という状況になります。過去からの取扱いということで、今後ご説明させていただきたいと思います。誤ったことを申しまして、申し訳ございませんでした。</p> <p>米印のところに記させていただきましたが、市長の場合現行が104万円それに対しまして98.1%、つまり1.9%の減額となりますがこれです、1円の位まで求めます。それを100円の位で四捨五入します。そういう処理をすべてにおいて致しました。その点は問題なからうと思います。そうしたうえで、再計算いたしております。下から2つ目の副議長を例にとりますと、66万6千円から65万3千円になりましたので、その減額率を計算いたしますと、2.0%になりました。このような形で、数字を確定したいとの事務局からのご説明でありました。ご了承いただけますでしょうか。</p>
全員	はい。
会長	<p>次に2ページ目をご覧ください。文言が所々直されておりますが、真ん中の段落に少し赤が多く入っていると思いますが、やや言葉足らずで説明が丁寧でなかった部分をきちっと補充しようとして修正しました。</p> <p>次に3ページの下の方、エにつきましては、前回第4回目の審議会において、お示した追加参考資料がありましたので、ここに追加させていただいております。</p> <p>下の方の(3)ですが、当初2つの重要な視点がある、というような文章でしたが、視点ではなからう、ということで少しこだわって書き直してみました。情報源ではないのかもしれませんが、情報源という言葉に置き換えて整えたつもりでございます。</p> <p>それから、4ページ目でございます。()の部分ですが、段落が少し、ごてごてしておりましたので修正いたしました。その上の段落で4つのカテゴリーが設けられておりますが、最後の4つ目の鎌倉市につきましては、使えないということにしまして、()と、()については、数字をちゃんと出しました。そして、その次のパラグラフで説明しております。このように少し筋をはっきりさせるために修正したものでございます。</p> <p>つづきまして、5ページでございます。結果的に赤がたくさん入りましたが、「引下げ可能」という表現が少し気になりましたので、修正させていただきました。</p> <p>中ほどの部分では、前の答申案では、期末手当の部分で、市によって支給率に違いがあるということについて、文脈とは無関係に記載がございました。しかし、そのことは少し枝葉に関する事柄であり、これを入れておくと、論旨が細かくなりすぎると思いましたので、その部分につきましては割愛させていただきました。</p> <p>次の高齢化率につきましては、前回にご指摘がございましたので、日にちをはっきりさせていただいております。</p> <p>下の方で、人事院勧告に関する部分がございます。ややここは説明不足に感じましたので、少し補足させていただきました。最終1.9%になる結果の根拠となっているところがございますので、ここを強調しておかないといけないと思い、ここを少し書き足しております。</p>

	<p>後は、文言等の修正でございます。</p> <p>最後に8ページのおわりに、の部分です。「速やかに」という副詞を追加させていただきました。これによりニュアンスがかなり変わるものと思います。</p> <p>前回の宿題になっていたところも織り交ぜながら、私自身が気になったところも修正し、かなり多くの赤が入ってしまいましたが、それなりに仕上げさせていただいたつもりです。まだ問題があるのかも知れませんが、何かご意見などを頂戴できればと思いますが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>阪神6市にカギカッコが入っているのはなぜでしょうか。</p>
会長	<p>タイトルに当たる部分についてのみカギカッコをつけました。そういう私の戦略でございます。</p> <p>まだどこかにおかしいところが潜んでいるのかもしれない、という恐怖感があるのですが、事務局と私で4、5回やり取りをさせていただき、何とかここまで仕上げました。とりあえず、と言っははいませんが、こんなものでいかがでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
会長	<p>他の委員の皆様もよろしいでしょうか。</p>
全員	<p>はい。</p>
会長	<p>これで、よし、としていただいたものといたします。ありがとうございました。</p> <p>皆様のご協力のおかげで、5回目にして、何とか答申をまとめることが出来ました。改めてお礼申し上げます。</p> <p>それでは、大塩市長に答申をさせていただこうと思いますので、ここからの進行は事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>岩見会長をはじめ、委員の皆様ありがとうございました。それでは「答申書」を確定いただきましたので、大塩市長にお入りいただきます。大塩市長の準備が整いましたら、岩見会長より「答申書」を手渡していただきたいと思いますので、しばらくこのままでお待ち願います。</p> <p><大塩市長入室></p>
事務局	<p>それでは、準備が整いましたので、岩見会長から「特別職報酬等の額の改定について」答申していただきます。</p>
会長	<p>川西市長大塩民生様。川西市特別職報酬等審議会会長岩見和彦。 特別職報酬等の額の改定について(答申)</p>

市長	<p>平成26年5月12日付で諮問のあった、市長及び副市長の給料の額及び議会の議長、副議長及び議員の報酬の額について、本審議会において慎重に審議した結果、ここに答申の原案が成立いたしましたので、本日、市長に答申申し上げたいと思います。</p> <p>< 答申書手渡し ></p> <p>ご苦労さまでございました。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは大塩市長より、お礼の言葉をのべさせていただきます。大塩市長よろしく願いいたします。</p>
市長	<p>みなさんこんばんは。市長の大塩でございます。</p> <p>2期目の本日が最終日でございます。明日から3期目を迎えさせていただきます。</p> <p>市政60年、市長選挙は17回目だそうです。その中で無投票になったのは今回で2回目だそうです。昭和29年姿勢がスタートしておりますが、2回目の昭和33年の時に無投票であったようです。初代の市長の小笠原市長さんは、私の国崎での実家のお隣でした。2回目の無投票に何かご縁があるのかと感じました。これからまた4年間、皆様には何かとお世話になることも出てこようかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>ただいま、川西市特別職報酬等審議会会長の岩見先生の方から、「特別職の報酬等の額について」ご答申いただきましたことに対してまして、誠に有難く厚くお礼申し上げます。</p> <p>去る5月12日に、第1回の審議会を開催させていただいて以来、委員の皆様方には公私とも大変お忙しい中、5カ月間という長きにわたり慎重にご審議賜わり、重ねてお礼申し上げる次第です。</p> <p>さて、今回の答申の中でもご指摘いただいているところでありますが、特別職の報酬等の額につきましては、平成4年に改定されて以降、約20年間改定されておらず、委員の皆様方には大変難しい諮問をすることになったことを、大変恐縮に思っております。そのような中においても、委員の皆様から様々なご意見をいただき、また、あらゆる角度からご検討をいただいた内容を、この答申書に集約いただけたことに対して、感謝申し上げます。</p> <p>なお、この答申書に基づきまして、来る11月27日より開催予定しております、12月定例市議会において、条例改正の進めさせていただくこととしております。</p> <p>最後になりましたが、委員の皆様には平素より市政全般にわたり、格別のお力添えをいただいておりますことに対し、改めてお礼申し上げますとともに、これからも、変わらぬご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、甚だ簡単ではございますが、お礼のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。</p>
会長	<p>ご丁寧な、お言葉、ありがとうございました。</p> <p>皆様のご協力により答申も無事終わりました、改めてお礼申し上げます。</p>

<p>会長職務代理者</p>	<p>せっかく市長がお越しですので、委員の皆様より一言ずつ審議会での感想などを頂ければと思います。大智会長職務代理者より順番にお願いします。</p> <p>やっぱり、20数年間審議会が開かれていなかったことは、あまりにも長すぎると思いますので、これからは定期的開催していただき、改定していくようにしていただければと思います。そのことにつきましては、どの委員さんからも出たように思います。そのことは、これからどの程度先を見越して審議するのか、ということにもつながると思います。</p> <p>付帯事項に書かせていただきましたが、独自減額というものがありますが、これもあまり長期化してしまいますと、本来の額が何のためにあるのかということになってしまいます。本来額を審議する根拠も薄れていくように感じましたので、併せてお考えいただければと思いました。</p>
<p>委員</p>	<p>どうもありがとうございます。5月の初回時には欠席させていただきましたので、市長とお会いするのが本日はじめてになります。学識経験者というたいそうな肩書で参加させていただきましたが、私の役割としましては、生意気な意見を言うことではないかと感じておりましたので、あえて岩見会長を少し困らせてしまうようなことを言ってしまったかもしれません。それが上手くいったのかどうかは分かりませんが、普段、裁判実務を行っているのとは、また違った意味合いで刺激も受けましたし、本当この審議会に参加させていただきましたら、いろいろなご意見を聞かせていただき、貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。</p>
<p>委員</p>	<p>報酬は、なかなかデリケートな問題で、諮問を受け答申するには非常に難しい問題であると思います。20年以上前だったりすると、上がったたり下がったりがその当時はものすごい事であったと思います。激変の時代であったと思います。これから先どのように動いていくのかはわかりませんが、仕組みについてはずっと考えておく必要が有るのではないかと感じました。</p> <p>それと、報酬は実はトータルなものですから、職務に対してどれくらい、そして、いい人に対してどれくらい、幾らがいいのかはなかなか言えませんが、この審議会の委員の皆様は、非常にフランクなご意見を出していただき、そしてまとめていただいたと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>別段意見というものはございませんが、もし、12月の市議会に提案されますと、1.9%の減額となっておりますので、議員さんからは市長に対して嫌味を言われたりすることもあるのではないかと心配いたしますが、およばずながら、外野席から議員の方を牽制させていただきます。</p>
<p>委員</p>	<p>民間との関係、他の公務員との関係など、いろいろ気になったところではございますが、結局は近隣の状況からの判断ということになりました。</p> <p>福島県の二本松という所に霞牙城という幕末の頃のお城があります。戒石銘に「汝</p>

委員	<p>の棒、汝の禄民膏民脂」と書かれています。これは、給料とボーナスは市民の力で作られたものである、ということですが、是非このことを思い出して良い仕事をしていただきたいと思います。</p> <p>医師会の代表として参加させていただきました。ほとんど金額のことについては正直分かりませんでした。素人のようなものです。いわゆる市民目線で、ご意見を述べさせていただきました。やはり大事なことは市民目線という視点であると思います。それは忘れてはいけないと思います。</p> <p>それと、市長の職務は激務です。そのことを市長さんがアピールすることも大事であると思います。また、その周りの方々も、そのことについて努力していただきたいと思います。そういうことで納得というものが得られるのであると思います。議員さんは地域に密着しておられますので、結構目に見えていると思うのですが、市長さんや、副市長さんの場合は、なかなか見えてこない部分もあると思いますので、今後もそのあたりを検討されてはどうかと思いました。感想だけです。</p>
委員	<p>私も公共団体の代表ということで、歯科医師会の代表として参加させていただきました。最初は安直に考えておりました、岩見会長にお任せしておけば、何でも良いであろう、というような発想でおりましたが、いざ、委員の一人として参画しておりますと、身の引き締まる思いがいたしました。報酬額を決定するという事は、なかなか難しい問題でしたが、他の人の給与を決めるのはなかなか難しゅうございました。自分のスタッフの給料は決められますが、社会活動の非常にお忙しい方々の給料等は私の性格には、そぐわない感じも致しました。結果的に1.9%の減額となりましたが、市長、副市長のお忙しい状況も存じ上げておりますので、これが妥当なのかどうかは、個人的には疑問もございしますが、地域社会の状況を考えると致し方ないのかな、とも思います。</p> <p>よく存じ上げている議員の方もおりますので、この後、恨まれるのではないかと感じているところがございます。半年間でしたが、どうもありがとうございました。</p>
委員	<p>鉄道会社に勤めておまして、半分公共的な仕事だと思っております。</p> <p>当初、特別職の給与などについては、正直あまりよく分かりませんでした。しかし、良い機会を与えていただいたと思えました。</p> <p>私たちの感覚といたしまして、最終的には常識内かどうか、という判断なのかと思えました。その点からいたしますと、当初想像しておりました額と逸脱した額ではありませんでした。</p> <p>各企業のトップ、ナンバーツー、ナンバースリーは、かなりの激務でありますので、額といたしましては常識の範囲で落ち着いたという感じがいたしました。非常に勉強になりました。ありがとうございました。</p>
委員	<p>紅一点として、あまり発言できませんでしたが。</p> <p>半年間、貴重な経験をさせていただきました。私は、全くの素人で、こういう風に決めていくのかという感じもしておりました。地域の議員の方にお会いしましたら、睨まれそう</p>

<p>会長</p>	<p>な気がして、地元の議員の顔が浮かんでくるようです。しかし、お会いした時には、しっかりと答弁したいと思っております。ありがとうございました。</p> <p>それでは最後になりましたが、私の方から感想をのべさせていただきたいと思えます。私こそ素人でございます、事務局の思いによりまして、このようなところに立たされました。結果、深夜まで原稿をいじるということになりました。しかも一度や二度ではございませんでした。</p> <p>審議会が5回という、限られていたこともありましたが、皆様方が非常にフランクにご発言くださいましたのが、とてもありがたいことでございます。私の方がむしろ、皆様方に何倍もの御礼を申し上げたいと思えます。</p> <p>それから、会長職務代理者の大智委員は、いてくださるといっただけで、とてもありがたいことございました。大智委員は、私は何もしておりませんと、おっしゃれれますが、いてくださったことがとても心強かった、ということを最後に申し上げまして、また、事務局の皆さん、ご健闘いただきどうもご苦労様でした。</p>
<p>事務局</p>	<p>皆さんどうもありがとうございました。それではここで、大塩市長におかれましてはここでご退席いただきます。</p>
<p>市長</p>	<p>ありがとうございました。一言だけ発言させてください。</p> <p>本日が、ちょうど8年目の最終日でした。就任当時には、行革、行革ということで、特別職の報酬は減額という観点がございました。そのため、この特別職報酬等審議会での改定ではなく、独自減額として、対応してまいりました。</p> <p>議会におかれましては、当時30名の議員がおられました。取り組みといたしまして、議員報酬を減額せずに、人数を減らすということをされました。</p> <p>本当は、もっと早く、この特別職報酬等審議会を開催しておかなくてはいけなかったわけではありますが、今回答申いただきましたように、4年に、ということも答申いただいておりますので、今後はそのような形でやらせていただきたいと思います。また、1.9%の減額につきましても文句は出ないのではないかと思います。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">(市長退席)</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、最後に事務局を代表しまして、総務部長の小田より閉会のご挨拶をさせていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局を代表いたしまして、一言ご挨拶、申し上げます。5月12日に第一回審議会を開催させていただいた後、今日までの約5か月間、都合5回のご審議を賜りまして、誠にありがとうございました。先ほど大塩市長からもありましたが、委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、また遅い時間帯にも関わらず、お集まりいただき、熱心なご議論・ご審議を賜りまして、改めて感謝申し上げます。</p> <p>思い返しますと、この期間ほど政治とお金の話が注目を集めましたことは無かったのではないのでしょうか。特に都道府県議会でありますとか、国に及ぶようなこともございま</p>

した。市長等の特別職の給与、及び、議員報酬という非常にデリケートな問題を、真摯にご検討いただきまして、逆に我々事務局の方が、皆様のご期待に添えられていなかったのではないかと、反省している次第でございます。ここに本日答申を賜りまして、今回の諮問についての決着を見たわけではございますが、どうか皆様方におかれましては、たとえ立場が変わりましても、どうか変わらぬご指導ご鞭撻賜りますよう切にお願い申し上げまして甚だ、簡単でございますが、閉会のご挨拶とさせていただきます。

委員の皆様、本当にありがとうございました。

< 閉会 >